

講演会のご案内

日本アート評価保存協会では、若手コレクターの育成事業の一環として、アート業界で活躍する皆様を講師に迎え、スペシャルトークを開催しております。**一般の方もご参加いただけます。**

2019年

5月21日 (火) 18:00 ~

人間国宝
須田 賢司氏

『伝統工芸と私の仕事』

2014年に木工芸の部門で重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されました須田賢司氏は、主に「日本伝統工芸展」を作品発表の場としています。

ここで言う「伝統工芸」は普通に言われる単に昔ながらの手仕事によって生活道具を作る「伝統“的”工芸」とは異なります。それは「表現としての作家の工芸」であり、西洋における絵画や彫刻と同列に論じられるものだとは須田氏は考えます。この日本における工芸の位置と意味を、須田氏のお仕事を通してお話させていただきます。

須田 賢司 (すだ けんじ)



【経歴】

- 1973年 東京都立工芸高等学校卒業、父 須田桑翠に師事、外祖父 山口春哉に漆芸を学ぶ
- 1975年 第22回日本伝統工芸展初入選
- 1979年 日本工芸会 正会員に認定される
- 1997年 東京藝術大学大学院美術研究科非常勤講師(1998年まで)
第44回日本伝統工芸展鑑査委員
以後5回歴任
- 2004年 東京藝術大学美術学部非常勤講師(2012年まで)
- 2008年 日本工芸会理事、木竹工部会長(現在に至る)
- 2009年 文化庁文化交流使(ニュージーランド派遣)
- 2010年 紫綬褒章受章
- 2014年 重要無形文化財(木工芸)保持者に認定される

【受賞歴】

- 1985年 第2回伝統工芸木竹展 文化庁長官賞受賞
- 1992年 第5回伝統工芸木竹展 朝日新聞社賞受賞
- 1994年 第41回日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞受賞
- 2006年 第53回日本伝統工芸展 朝日新聞社賞受賞
- 2008年 第55回日本伝統工芸展 日本工芸会保持者賞受賞
- 2010年 第17回MOA岡田茂吉賞工芸部門MOA美術館賞受賞

申込方法

事務局まで直接お問い合わせ下さい。

(メール) info@ja2pa.or.jp

(電話) 03-3569-1250

※電話受付時間 平日 10:00~18:00

聴講料

500円 ※要申込み

会場

東京都千代田区有楽町 2-10-1
東京交通会館 8階